

別紙2

三重県 中央会情報連絡員報告総括表 (令和7年6月)

情報連絡員数	40 名	回答者数	40 名	回答率	100.0 %
--------	------	------	------	-----	---------

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況					
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化			
製 造 業	食料品	1	2	1	1	3	0	1	3	0	0	4	0	0	3	1	0	3	1	1	3	0	0	4	0	0	2	2			
	繊維工業	1	0	2	0	2	1	2	1	0	0	3	0	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	3	0	0	1	2			
	木材・木製品	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	0	2			
	紙・紙加工品	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1			
	印刷	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1			
	化学・ゴム																														
	窯業・土石製品	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0			
	鉄鋼・金属	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0			
	一般機器	1	0	2	0	2	1	2	0	1	0	3	0	1	0	2	1	1	1	1	0	2	1	2	0	0	1	2			
	電気機器	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1			
	輸送機器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0			
	その他																														
小計		5	6	9	3	14	3	7	11	2	0	19	1	3	8	9	1	14	5	3	9	8	1	17	2	0	9	11			
非 製 造 業	卸売業	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	X			0	2	0	0	2	0			
	小売業	0	4	2	0	6	0	3	3	0	0	5	1	0	4	2	0	4	2				0	6	0	0	4	2			
	商店街	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	0	1			
	サービス業	2	1	1	X			1	3	0	0	4	0	0	3	1	0	3	1				0	3	1	0	3	1	0	3	1
	建設業	0	2	2				1	3	0	0	3	1	0	3	1	0	3	1				0	3	1	0	4	0	0	3	1
	運輸業	0	1	0				1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0	0	1	0
	その他	1	1	0				0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0				0	2	0	0	2	0	0	2	0
小計		4	11	5				0	9	0	8	12	0	0	17	3	1	14	5	0	16	4	0	19	1	0	15	5			
合計		9	17	14				3	23	3	15	23	2	0	36	4	4	22	14	1	30	9	3	9	8	1	36	3	0	24	16

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和6年6月～令和7年6月)

三重県中小企業団体中央会

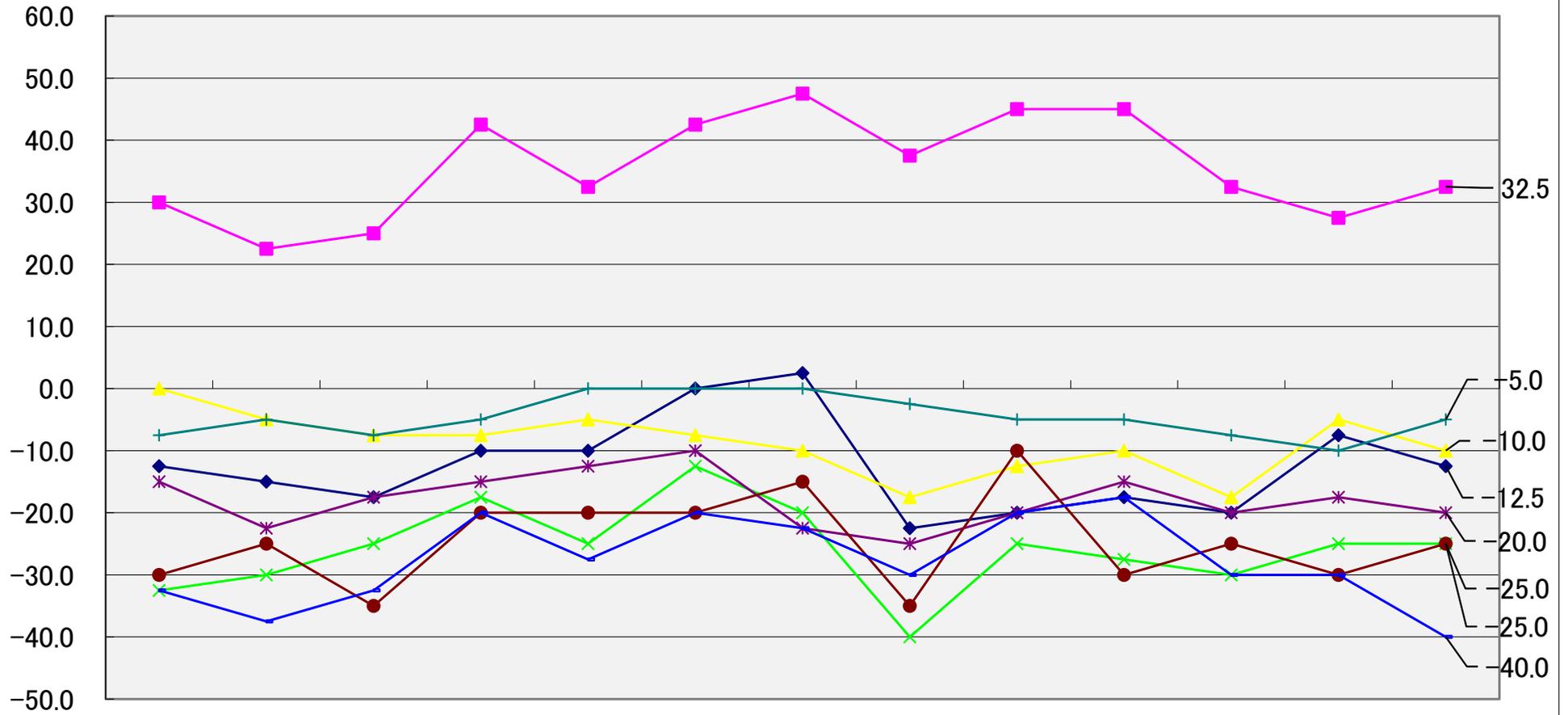
連絡員総数 40名

	6/6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7/1月	2月	3月	4月	5月	6月	増減
売上高	-12.5	-15.0	-17.5	-10.0	-10.0	0.0	2.5	-22.5	-20.0	-17.5	-20.0	-7.5	-12.5	-5.0
販売価格	30.0	22.5	25.0	42.5	32.5	42.5	47.5	37.5	45.0	45.0	32.5	27.5	32.5	5.0
取引条件	0.0	-5.0	-7.5	-7.5	-5.0	-7.5	-10.0	-17.5	-12.5	-10.0	-17.5	-5.0	-10.0	-5.0
収益状況	-32.5	-30.0	-25.0	-17.5	-25.0	-12.5	-20.0	-40.0	-25.0	-27.5	-30.0	-25.0	-25.0	0.0
資金繰り	-15.0	-22.5	-17.5	-15.0	-12.5	-10.0	-22.5	-25.0	-20.0	-15.0	-20.0	-17.5	-20.0	-2.5
設備操業度	-30.0	-25.0	-35.0	-20.0	-20.0	-20.0	-15.0	-35.0	-10.0	-30.0	-25.0	-30.0	-25.0	5.0
雇用人員	-7.5	-5.0	-7.5	-5.0	0.0	0.0	0.0	-2.5	-5.0	-5.0	-7.5	-10.0	-5.0	5.0
業界景況	-32.5	-37.5	-32.5	-20.0	-27.5	-20.0	-22.5	-30.0	-20.0	-17.5	-30.0	-30.0	-40.0	-10.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移

6/6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 7/1月 2月 3月 4月 5月 6月



◆ 売上高
 ■ 販売価格
 ▲ 取引条件
 × 収益状況
 ✱ 資金繰り
 ● 設備操業度
 + 雇用人員
 — 業界景況

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
食料品	漬物	生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足が続いており、また、ウクライナ戦争の影響及び円安による諸資材の高騰により、特に電気代の値上がり経営を圧迫する状態が続いている。今年はコメの価格高騰の影響により、消費が減少しており、それにつれて漬物の消費も伸び悩んでいる。6月6日には名古屋市において中部漬物協会の総会が開催された。外国人技能実習評価試験、T1グランプリの開催、漬物製造管理士技能評価試験等の事業が承認された。	
	醤油味噌	今月は特に変化はなく、通常の状態が続いている。国の農林水産物の輸出促進政策による補助金事業にエントリーし、今年も補助金が認められた。また、大阪関西万博の三重県ブースに期間限定で出展している組合員もいる。コメ不足により政府備蓄米の放出が始まって小売店で並び始めたが、味噌の原料である加工用米の確保の問題が残っており、業界団体は農水省へ陳情している。	
	他に分類されない食料品 製造業	例年になく暑さが続いている。工場内の暑さはクーラーでは足しにならない。スポットクーラーでしのいでいる。水分と塩分補給を促している。熱中症は避けたい。時間給の上昇、社会保険の加入等で夏期賞与を下げなくてはならない資金繰り状況である。交際費であるお中元も見直すべきだと考えている。	
	製麺	全麺連の総会が6月11日(水)に開催された。組合数も700社を切る勢いで減っている。今後の運営も大手企業は準会員であるため、やり方を改善しなければならない状況になっている。三重県も伊勢うどんを始め、業界運営も引き続き取り組んでいきたいと考えている。	
繊維工業	衣料縫製	物価高の影響で販売数が振るわず、メーカーも追加生産や先物の製造に手を出せずにいて、我々中小縫製業者の仕事量が減少している。参議院選挙でバラマキなどやっていないで、きちんと経済対策を打ち出してほしい。	
	テントシート	熱中症対策義務化により遮熱シート・カーテン等の設置要望が増えている。当業界においては、テントシートの現場作業は慣れが必要であり、作業員も高齢になってきているので、先々の現場作業には不安を感じている。若年層の雇用も長期的には難しい側面もある。	
木材・木製品	木材	良質な原木入手が難しく価格は下がる時期だが、人出不足やコスト高を背景に原木価格は保合、国産材製品の荷動きは低調で人件費や配送料等のコスト高騰で厳しい経営環境が続いている。	
	木材チップ	原材料価格が高止まりしているため原料確保が課題となっている。また、従業員の確保が困難である。	
製 造 業	紙・紙加工品	古紙	6月の仕入れ量は：段ボール・約96±3%位、新聞、チラシ・約87±9%位、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約88±7%ほどである。人口減少と少子化・高齢化が進み戦後からの責任政党の政策も外圧からアンフェアと言われ、35年ほど前の関税障壁と言われて経済をエンジン失い、ここ20年前からの近隣国への安い教員賃で投資された企業の国内収益も大変少なくデフレスパイラルにより東京2020オリンピック等の効果も感じられずコロナショック後の経済回復は得られないし時間が掛かると考える。働き方改革による手取り賃金の減少は賃金UPで2024年運送問題は取引先の運賃値上げや役員報酬の減額等企業努力で対応した。パーティー券収入を止め政党助成金の支給を止め、ガソリン高騰ならガソリン税と消費税の2重取りも止める、社会保障費の値上げと新設等々は国民所得の控除で成立し、私たちの企業運営や生活や景気等の気持ちに大きく影響を及ぼし続けており、取引先の7月製紙原料発注量も前年比大幅マイナスで仕入れが少ない中でも古紙問屋の在庫は多めとなっている。古紙や金属・古着の持ち去り事例とゴミの置き去りも普通となり捕まえてもらえないので、ざる法でない古紙持ち去りの効果的な立法化を願う。
	印刷	印刷	先月、中部地区印刷協議会が三重県で開催されるとしていたが、当月無事に開催することが出来た。当日は、愛知・岐阜・石川・富山・三重のメンバーにあわせ、全日本印刷工業組合副会長も参加のもと、組合活動における進化させることや問題点等が話し合われた。生成AIを使った技術とそれによる著作権侵害への心配なども話し合われた。国等における環境物品等の調達推進に関する基本方針が今年の1月閣議決定された内容に、印刷調達について、環境指針として【基準1】【基準2】と明確に区分けされた。基準1は、より環境配慮・環境問題に取り組んでいる事業者であることと条件化されたが、残念なことに三重県では従来の調達基準となら変わらない基準2以上とするといった当たり障りのない条件としている。より環境問題に真摯に取り組む事業者を調達の選定基準にしていけない県の仕様書の改善を求め
		伊賀焼	業況については、それぞれの窯元を中心に月々励んでいる。伝統産業会館の来客については、伸び悩みがあり、組合としても大きな問題となっている。色々な問題が山積みしている。
鉄鋼・金属	鍍金	業界の生産額は、総じて堅調な状況である。なかでも自動車関連のうちEV関連の受注が好調であるが、今後は米国との関税交渉の進展次第では悪影響が出ることも考えられる。	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
一般機器	四日市市	全体的に停滞気味で、4月以降多くの中小企業から受注量が少なくなっていると聞いている。業界を問わず、経済が動いていないと感じられる。米国との関税の問題が早期に決着し、先が見通せる状況が早く来ることを望むばかりである。	
	津市	4月、5月と受注が低かったせいかもしれないが、6月に受注が集中して売上が大幅に伸びた。ただし4月～6月を平均してみると例年通りの感である。どちらかという今まで平均して注文があったものが、受注増減の幅が大きく材料の発注が予想しにくくなった。トランプ関税も自動車業界はあまり良くないため、今後の動向には、より一層の注意が必要である。	
	伊勢市	先月に引き続き低調な状況が続いている。受注・売上は減少し、収益状況は悪い。材料価格は上がり、その分の販売価格への転嫁はしたが売上が落ちてきた。自動車関連も設備関連も回復はまだまだ遠く感じる。先行は不透明で明るい話が無い。	
	電気機器	鳥羽市	8割稼働で推移しており、困難な状態が続いている。半導体関連の電気機器が動かず、困窮している。
	輸送機器	伊勢市	受注は一般機械器具では増加、物量改善により、採算面は回復傾向である。米国トランプの関税政策の直接的な影響ではないが、自動車部品の物量は減少傾向が続く。トランプ関税政策の影響も依然先行き予測が難しい。賃上げ、金利上昇、企業物価の高止まり等、国内における経営圧迫材料増加に対し、物量増加による利益状況改善に期待する。
非製造業	青果	(野菜前半)長野産レタスが順調に入荷し安値が続いている。ジャガイモは長崎産に加えて静岡産の入荷が始まり値下がりしてきた。トウモロコシは愛知産で甘味が強く、美味しいので人気である。三重県産・熊本県産トマト、愛知産・熊本産の那須、長野産のキュウリはいずれも値上げした。(野菜後半)長野産白菜が全体的に出来が良くお値打ちに、高知産・和歌山産の新ミョウガも作況が良く、昨年並みの価格である。玉葱、ジャガイモも安値で推移している。三重県産・愛知県産トウモロコシは最盛期になりお買い得である。(果物前半)スイカは熊本産が品質が良く、少し安くなってきた。デラウェアは島根産の入荷が増え、価格もお手頃になっている。アールスメロンは熊本産・静岡産の甘味が強く、今がお買い得である。(果物後半)スイカは愛知産を中心に味もよく価格は昨年並みである。サクランボは山形産が出荷のピークになってきた。デラウェアは島根産がお買い得になった。モモは和歌山・愛知・山梨の各産地から入荷が増えてきた。ハウスみかんは愛知産が人気で引き合いが強い。	
	自転車	梅雨入りとなり、百貨店では晴雨兼用傘が今人気となり、売り場を3倍に拡大し、「傘フェス」を開催、売れ行きがかなり伸びている。自転車業界を取り巻く環境は真逆の状況で、個人消費は力強さを欠いている。一般財団法人自転車産業振興協会より令和6年1～12月の生産台数及び需要台数が発表された。国内生産台数670,594台(前年比93.8%)と昨年に続き減少、輸入台数4,412,904台(前年比101.2%)で微増、全体の国内向け台数は5,083,498台(前年比100.1%)となり近年の減少傾向に一旦歯止めがかかった結果となったが、組合員からは店の経営情勢は依然として厳しい状況との報告が多く寄せられている。	
	電器	梅雨入りと夏商戦が始まってきた。特にエアコンや冷蔵庫などは早期に働きかけている販売店には注文が入り始めた。例年と比べると気温が高くなるのが早いようなので商品の売れ行きはまずまずといったところかと思われる。作業員の熱中症対策を今年はよりしっかり行う必要がある。	
	石油	燃料油価格支援事業への「予防的な激変緩和措置」の追加について、中東情勢の緊迫化に伴い、原油価格が高騰している。現在、政府は物価高対策の一環として燃料油に一定の金額を支給(ガソリン・軽油には10円、灯油・重油には5円)する「定額引き下げ措置」を実施しているが中東情勢混乱が長引き、石油製品の急激な上昇が継続する場合に備え、現行の「定額引き下げ措置」をベースに実施しつつ、新たに追加支援として「予防的な激変緩和措置」を行うことを決めた。この追加支援策のポイントは次の3点である。①全国平均小売価格で175円を大きく超えないようにする。(ターゲットプライスを175円に設定)②175円を超過する部分については、現在の定額引き下げ措置の支援額に加えて、10分の10の補助(灯油・重油はガソリンへの支給額の5割相当)が行われる。③燃料油の最需要期となる7月～8月の2カ月を期限に行われる。	
	スポーツ	今月スポーツ組合の中部ブロックがあった。(愛知、岐阜、三重、静岡、福井、石川、富山)現状の報告として静岡が組合を解散して連絡協議会になった模様である。若い経営者に代替わりをしていく中で、組合に対する価値がなくなってきた感じである。	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
商店街	熊野市	商店街内にて事務局兼物販事業を長年にわたり展開してきた施設の物販事業部門が先月末に終了した。閉鎖の大きな要因として、売り上げの低迷があげられる。今後は商店街事務のみの業務に専念していく予定ではあるが、組合店舗の減少等資金面に関しても厳しく、将来的に今後の運営を存続していけるかが課題となっている。
サービス業	旅館	コロナ禍移行、昨年度は毎月対前年同月比を上回っており、回復傾向にあったが、昨年末頃より対前年同月比を下回るような状況が続くようになった。今年の夏も非常に暑くなる予報であるため、旅客数も控えめになると予想される。加えて食材仕入れの値上がりや人件費光熱費等の全ての経費の高騰により、支出が増大している。売上の頭打ちと支出経費の増大の両面が進行することで旅館ホテル業界は非常に厳しい状況に立たされているため、国や県には需要喚起策と金融支援を早急実施してもらう必要がある。
	警備	昨年に比べて今年度は梅雨が短く、現場中止も少なかったために、稼働日数が増した今、売上増加となった。
建設業	総合工事業	令和7年5月の公共工事の県内企業の受注状況は、前年度同月と比べては26%の増加となった。増加の主な内訳は、国、県と市町でいずれも増加によるものである。
	内装工事業	6月は対前年同月比で大幅なマイナスとなった。物価高による原材料価格の高騰により、建設関係の投資減が考えられ、業界の状況は非常に厳しい。
	水道工事業（亀山市）	亀山市発注の上水道工事について第1四半期からの発注予定の工事が発注されてきたが、年々工事の発注量が少なくなっている。また、水道組合の市からの委託業務についても本年は減少している。民間についても物価高騰により工事量が減少している。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	先月は総会にて小林弁理士にご講演いただき、当組合組合員にも理解が深まり、今後の対策になったと思う。伊勢うどんの取組みを見直していきたい。
食料品	他に分類されない食料品製造業	中小零細企業に一律に手当てがないのだろうか。
一般機器	四日市市	物価上昇、賃金アップ、人不足と事業環境は厳しいなか、業界全体で活況な業種が少ないように感じる。その結果売り上げが確保できて利益を得ることが難しくなっている。物価上昇への理解は進んできたが、人件費高騰に対する理解が得られるような施策がほしい。賃金を引き上げても社会保険料等により手取りが増えない状況を改善してほしい
繊維工業	衣料縫製	あまりにもコンプライアンスがきつい世の中なので経費も掛かってしまう。そういう面を補助できるように政府に伝えてほしい。
サービス業	旅館	①暑い日が続いているところですが、外出を控えるような発表は控えてもらいたい。 ②需要喚起策として全国旅行支援「おいでよ！みえ旅キャンペーン」を早急に再開してもらいたい。